

Vol. ● 投稿用フォーマット（和文） 第●稿 提出日：XXXX年 X月 X日  
執筆規程を必ず確認して下さい。投稿時は説明や記載例等を消してご使用下さい。

1. 投稿原稿の種類（いずれか1つに○）

<input type="checkbox"/>	総説
<input type="checkbox"/>	原著論文
<input type="checkbox"/>	研究報告（事例報告を含む）
<input type="checkbox"/>	資料

2. 論文題目（日本語と英語）

--

3. Key words（英語で5つ以内）

----------------------

4. 著者名等（和文の場合は日本語と英語。必要があれば行を追加）

氏名	所属機関名

5. 筆頭投稿者

氏名	 
メールアドレス	 
電話番号（つながりやすいもの）	 

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35

投稿の種類

和文題目 (1行～2行)

—和文副題— ない場合は無記入

英文題目 (1行～2行)

—英文副題— ない場合は無記入

著者氏名 複数の場合は執筆規程参照  
所属 複数の場合は執筆規程参照

英語著者氏名 Taro SATO  
英語所属

1 和文要約

2

3 英文要約

4

5 Key words: 英語で5つ以内. カンマで区切る.

6

7 本文

8 1.

9 2.

10 2.1

11 2.2

12 2.2.1

13 3.

14 4.

15 謝辞

16 注

17 i

18 ii

19 文献

20 . . . .

21 . . . .

22 . . . .

23 題名の直後と最後はピリオド, 他の区切りはコンマ.

24 日本語の副題前後は全角ダッシュ.

25 外国語の副題はコロンでつなぐ. コロンの直後(副題の冒頭)は語頭を大文字とする.

27 外国語文献の掲載誌名と図書名はイタリックとする.

28 文献は引用文献のみ書く.

29

30 <記載例>

31 (1)雑誌論文

32 著者名(発行年), 論題名. 雑誌名, 巻(号), 頁-頁.

33 ①著者名は全員を列記し, コンマでつなぐ.

34 ②論題名の後ろと最後はピリオド, 他の区切りはコンマ.

35 ③副題は, 日本語の場合は副題の前後に全角ダッシュ, 外国語の場合はコロンでつなぐ.

37 ④雑誌名は省略せず正式な表記とし, 外国語文献の雑誌名はイタリック体.

1 ⑤頁は引用箇所ではなく論文の開始頁から最終頁。

2 例) 林光 (1991), 創造と日常のあいだーバッハ・モーツァルト・宮澤賢治ー音  
3 楽教育, 325, 7-20.

4 佐藤太郎, 鈴木花子, 田中次郎, 高橋桜子 (2017), 学校音楽教育における即  
5 興の意義. ○○ジャーナル, 5 (1), 22-30.

6 Mandel, E. S. (2019), Patient Satisfaction and Benefits of Music Therapy Services to  
7 Manage Stress and Pain in the Hospital Emergency Department. *Journal of Music*  
8 *Therapy*, 56(2), 149-173.

9 Frye, B. (1990), Art and multiple personality disorder: An expressive framework for  
10 occupational therapy. *American Journal of Occupational Therapy*, 44(11), 1013-  
11 1022.

## 13 (2) 図書

14 著者名(発行年), 書名. 版, 発行所, 発行地.

15 ①著者名は全員を列記し, それぞれコンマでつなぐ.

16 ②書名と発行地の後ろはピリオド, 他の区切りはコンマ.

17 ③外国語文献の書名はイタリック体.

18 ④副題は, 日本語の場合は副題の前後に全角ダッシュ, 外国語の場合はコロンでつ  
19 なが.

20 ⑤版表示は当該図書の表示に従う(第二版, 改訂新版など).

21 例) 林謙三 (1964), 正倉院楽器の研究. 風間書店, 東京.

22 佐藤太郎, 鈴木花子編 (2016), 日本における即興音楽の歴史. 第2版,  
23 音符出版, 東京.

24 Grout, D. J. (1960), *A history of Western music*. Norton, New York. 服部幸

25 三, 戸口幸策訳 (1969), 西洋音楽史. 音楽之友社, 東京.

26 バニエ, ジャン (1989), 音の叫びー心に傷を負った人々からのメッセ  
27 ージー. 佐藤太郎, 鈴木花子監訳, 音符出版, 東京.

28 American Psychological Association (2010), *Publication manual of the*  
29 *American Psychological Association*. 6th ed., American Psychological  
30 Association, Washington DC.

31 De Nora, T. (2000), *Music in Everyday Life*. Cambridge University Press,  
32 Cambridge.

## 34 (3) 図書のセクション

35 当該部分の著者名(発行年), 当該部分の題名. 編著者名, 書名, 版, 発行所, 発行  
36 地, 頁-頁.

37 ①著者名, 編著者名は全員を列記し, コンマでつなぐ.

- 1 ②当該部分の題名と発表年の後ろはピリオド, 他の区切りはコンマ.  
2 ③外国語文献の書名(当該部分の題名ではない)はイタリック体.  
3 ④副題は, 日本語の場合は全角ダッシュ, 外国語の場合はコロンでつなぐ.  
4 ⑤版表示は当該図書の表示に従う(第二版, 改訂新版など).  
5 ⑥頁は引用箇所ではなく当該部分の開始頁から最終頁(引用箇所は必要に応じて本  
6 文に記載).

7 例)佐藤太郎 (2017), 20 世紀の即興. 鈴木花子, 田中次郎編, 即興音楽大  
8 系, 第 2 版, ドレミ ファ出版, 京都, 83-130.

9 Pavlicevic, M. & Ansdell, G. (2004), Introduction 'The ripple effect'. In  
10 Pavlicevic, M. & Ansdell, G. eds., *Community music therapy*, Jessica  
11 Kingsley Publishers, London, 15-31.

#### 13 (4)ウェブ情報

14 著者名(公開年), ウェブページの題名. ウェブサイトの題名, URL, 参照年月日.

- 15 ①題名と最後はピリオド, 他の区切りはコンマ.  
16 ②外国語サイトの場合, ウェブサイトの題名はイタリック体.

17 例)厚生労働省 (2019), 平成 30 年患者調査の概況.

18 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/11/>, (アクセス  
19 2019.4.30) .

20 *World Health Organization*, Global strategy to reduce harmful use of alcohol.  
21 [http://www.who.int/substance\\_abuse/activities/gsrhua/en/](http://www.who.int/substance_abuse/activities/gsrhua/en/), (accessed  
22 2015.7.31).

#### 24 (5)録音物

25 アーティスト名(発表年), 曲名. アルバム名, (媒体), レーベル名.

26 例)山下洋輔 (1998), ダブル・ヘリックス. キアズマ, (CD), ポリドー  
27 ル.

28 Bailey, D. (2005), Explanation & thanks. Carpal Tunnel, (CD) , TZADIK.

#### 30 (6)楽譜

31 作曲者名(刊行年), 曲名. 曲集名, 版, 編者・校訂者名, 発行所, 発行地.

32 例)Verdi, G. (1982), Rigoletto: Critical Edition Study Score. Series I, Operas Book  
33 17, Chusid, M. ed., University of Chicago Press, Chicago.